

令和6年度 第1回 幌延町地域公共交通活性化協議会 会議記録

日時：令和6年8月5日（水）13：30～16：00

場所：幌延町役場2階大会議室

1. 開会

2. 委嘱状交付

委員の追加・変更による委嘱状交付（野々村町長）

- ・中川町、（有）平和ハイヤー、特定非営利活動法人ミナといかんで委員追加があった。
- ・北海道運輸局旭川運輸支局、北海道宗谷総合振興局、北海道開発局稚内開発建設部、北海道宗谷総合振興局建設管理部、北海道警察旭川方面天塩警察署、問寒別地区連合町内会で委員変更があった。

3. 幌延町長挨拶

野々村町長より挨拶。

4. 委員紹介

事務局より各委員を紹介。

5. 講話説明：「自家用車活用事業、自家用有償旅客制度について」（資料1、2参照）

北海道運輸局旭川運輸支局 首席運輸企画専門官 宮崎 嘉夫 氏

- ・ライドシェアについて、多方面から呼び方があるが「日本版ライドシェア」として整理。
- ・道路運送法による①自家用有償旅客運送法による公共ライドシェア、②自家用自動車による有償運送、③道路運送法によらない許可登録を要しない運送態様がある。
- ・ライドシェア対応は、タクシー事業者管理下での新たな取組として創設し、R6,4開始方針。
- ・自家用車活用事業は、タクシーが不足する地域、時期、時間帯において、地域の自家用車や一般ドライバーを活用して行う有償運送。道路運送法第78条第3号による。
- ・自家用車活用事業は札幌、室蘭で実施済み。幌延町の属する旭川交通圏は31台を上限。
- ・自家用有償旅客運送制度は、バスやタクシー事業者による輸送が困難な場合、市町村やNPO法人が自家用車を活用し行う有償旅客運送。運送対価は実費範囲内でタクシーの8割程度。
- ・運用改善が行われている。第一弾（4項目）は交通空白地の概念に、「時間帯による空白」が取り込まれ、第二段（同）運行区域を柔軟に設定することができるようになった。

6. 協議事項：会長議事進行

(1) 幌延町地域公共交通計画の策定の目的と経緯について（資料3-1～3-5参照）

山下事務局員より説明

(2) 実証運行実施計画書について（資料4、5-1、5-2参照）

(株)シン技術コンサル榊原氏より説明

(3) 実証運行実施計画書要約と協議事項について（資料6参照）

山下事務局員より説明

(4) 懇談（質疑）

○委員

資料6について、上問寒から市街地に3人乗せていった場合、利用料は1人500円ずつか。

ー山下事務局員

そのとおり。路線バスのイメージで、おひとりずつ利用料をいただく。

○委員

実証運行中、利用者がどこからどこへ行き、何の目的で利用したか記録を取ることをお願いしたい。

ー山下事務局員

システムにより分析できると考えている。結果を本格運行に反映させたい。

○委員

- ・資料6と資料5-1、5-2の料金表を見ると、料金に相違がある。

ー山下事務局員

資料5-1が誤り。修正する。

ー榊原氏（(株)シン技術コンサル）

併せて資料4の20ページ目が誤りになる。

- ・幌延の乗合タクシー事業で、実証運行申請に2か月の標準処理期間が必要。2か月切っているが運輸支局に相談しているか。10/1スタートは約束できない。

ー斉藤事務局員

相談していない。この後提出予定。

- ・問寒別自家用有償運送だが、実証運行と本格運行の区別がないようだが。

ー山下事務局員

12月から引き続き運行する予定。運行区域の変更もあるかもしれない。

- ・フィーダーR7申請が始まっている。予定通りR7.10補助対象か、もしくはR7.4補助対象になるか。可能かどうかは今後の判断となる。

- ・実証運行は通年でやらないのか。11月で終わって12月から続けるのは延長と捉えられる。どうするのか情報を共有してほしい。

○オブザーバー

利用時間帯区分はどれくらい厳密か。JRやバスの乗継時間にシビアな対応もある。また、○時台の境界に予約があった場合はどうなるか。複数人で予約がかぶった場合はどうするか。

ー山下事務局員

原則、予約時間帯を過ぎてしまったら次の時間帯になってしまう。予約時間がかぶった場合は、希望通りの時間はお断りする形となる。

○委員

- ・フィーダー申請を検討しているのであれば、計画書に載せるべき。R7.4に反映させる場合はR7.3に変更するのか。昨年度の協議会で確認はなかったのか。

ー山下事務局員

計画書には「申請を検討」と記載しており、それをもって申請したい考えだった。不足する場合、変更はしなければならないかと考えている。昨年度協議会で指摘がなかった。実施時期も踏まえ確認する。

○委員

現在実施しているハイヤー助成に加えて、今回の乗合タクシーの実証運行は、対象が全町民と観光客となり不安もあるが、やってみないとできるかどうかは分からない。システム管理について、どこまでサポートしてもらえるかがカギとなり期待している。

○委員

有償運送で対応できる職員は1名。できる範囲での対応になる。

○オブザーバー

ハイヤー助成の年度更新の際、一括作業している。乗合事業は申請の都度発行になると作業は大変だ。複数回かけて一括発行ができればよい。

ー山下事務局員

複数回締め日を作り、一括発行を考えている。

○委員

事前に事業内容は伺っていたので問題はない。問寒別から天塩中川駅の送迎はJRとの共生として良いと思う。ただ営業時間外になる朝一番と夜遅い時間の特急の乗車希望については、検討していただければ。

○委員

問寒別地区の住民の足を守るものなので、本町の行政側としては異論ない。

○委員

チラシで案内する時に調査協力をお願いを一言いれておくとういと思う。

(5) 今後のスケジュールについて

次回の協議会開催は、実証運行の結果を踏まえ、2月以降を予定。

(6) その他（質疑等）

ー岩川会長（副町長）

・以上、皆さんの意見をいただいたが、ここで合意をいただき、進めてよろしいか。

⇒異論なし。

・今回の協議会で気になることがあれば、様式を添付しているので、記載の上、事務局へ提出してほしい。

以 上